



I count him braver who
overcomes his desires than him
who conquers his enemies; for the
hardest victory is over self.

私は、敵を倒した者より、自分の欲望を克服した者の方を、より勇者と見る。
自らに勝つことこそ、最も難しい勝利だからだ。——アリストテレス※

※Αριστοτέλης…古代ギリシアの哲学者。プラトンの弟子であり、ソクラテス・プラトンとともに西洋最大の哲学者の一人とされる。多岐にわたる自然研究の業績から「万学の祖」とも呼ばれる。上の肖像は左がプラトン、右がアリストテレス。

◆ 卒業生の「わが校」紹介 早稲田実業学校高等部2年 安田七海さん

(志木二中 2018年卒)

皆さんは早稲田実業学校と聞くと、どんなイメージがありますか？ 真面目な人が多そう、私は最初ずっとそう思っていました。しかし実際入ってみると、みんなとにかくフレンドリーで賑やかで、授業中もしばしば先生に注意されるほど元気な人が多いです... (笑) 男女比が2:1というものもあるかもしれませんが、とにかくうるさい！ だから最初に言うておきます、落ち着いた環境で真面目に勉強だけをしたい方は、あまりこの学校に向いていません。しかし、賑やかな雰囲気が好きな人、部活動や行事を頑張って青春を楽しみたい方は、ぜひ早実へ！ ▼この学校はほとんどの人が早稲田大学に内部進学をするので、受験勉強にとらわれず、自分のやりたい事をする時間が多くあります。例えば、私は放課後に行っている中国語講座というものに通っています。他にもドイツ語講座があったり、希望者が大学の模擬裁判に参加できるイベントがあったりと、高校生のうちから様々な学びを経験することができます。また、早実の授業の目的は受験対策とは少し違うため、ほかの進学校に比べ変わった授業が多いです。例えば国語(現代文)では、プレゼンテーションやディベートをたくさん行い、将来社会で役に立つ能力を身につけることができます。早大への推薦は、各学年での評定と高3で行われる学力テストの点数を合わせた持ち点が、高い人から順に好きな学部へ行くことができます。今は入りたい学部などが決まっていなくても、高1と高2で学部説明会が行われ、さらに高2では模擬講義を聞くことができるので、焦らなくて大丈夫です ▼受験勉強は大変だと思いますが、皆さん頑張ってください！ 応援してます！





ビルマは現在ではミャンマーと言われています。これはドイツ文学者であり評論家でもあった竹山道雄氏が書いた唯一の小説です。1947年から3年かけて「赤とんぼ」という子供の雑誌に掲載されました。市川崑氏によって1956年と1985年に映画化もされています。知らない人はいないほどの作品でしたが、みなさんは読んだことがありますか。

『ビルマの豎琴』 竹山道雄著

1945年7月、ビルマ戦線において日本軍は中立国のタイを目指して撤退を続けていました。音楽学校を出たばかりの隊長が率いる部隊は「うたう部隊」でした。隊長が指揮をしてよく合唱をしていました。部隊の一人「水島」は、この隊に入って初めて音楽を知ります。もともと音楽の才能があったようで、自作の豎琴を合唱に合わせて演奏するようになります。厳しい戦況の中にあっても、この隊は音楽の力で仲間もよく規律も保たれていました。……やがて停戦を迎え、この部隊はイギリス軍の捕虜となります。山にたてこもってどうしても降伏しない日本兵を「水島」が説得に向かう場面があります。「水島」が降伏をすすめると、その部隊の隊長は顔色をかえて怒ります。「わが隊はおまえの隊のような腰抜けではない。ここで、われわれは全滅するまでたたかう！」その隊の人々の言うのを聞きながら「水島」はこう感じます。「ここにたけりたっている人たちは何か妙なものに動かされています。一人一人はあるいは別なことを考えているのかもしれませんが、しかし、全体となると、それは消えてしまってどこにも出てきません。人々はお互いにおおりのたてられた虚勢といったようなものから、後にはひけなくなっているのです。別な態度をとれなくなっているのです。何か一人一人の意志とははなれたものが、全体をきめて動かしています……」その後「水島」は自分の隊がいる収容所に戻るためビルマの国をさまよいます。その途上でみたものは、散乱した日本兵の死骸でした……▼これは「インパール作戦」の「犠牲者」だと思われます。「インパール作戦」は現地の気候条件を無視した無謀な策で、作戦に参加した日本兵のほとんどが死亡したため「史上最悪の作戦」と言われています。これは70数年前の話ですが、冷静に理性的に考えればおかしなことだけれどもう決められたことだからと進められていることって、今でもありませんか。暑い夏にこんなことを思いながら再読した本です。

※ここで紹介された本は萌学舎文庫（自習室の本棚。2週間貸出）にあります。

◆ 行事予定

□ 9/29(日) 中3 北辰テスト

□ 10/6(日)12:30~19:00 中間テスト対策自学自習日(教師が監督し、勉強に専念させます)

□ 10/3~10 中間テスト対策週間(中学ごとに試験対策授業をします。詳しい日程表は後日配布します)

□ 10/21~26 中3 個別進学相談会(ご父母と担任教師、マンツーマンの面談です)

□ 11/3 第6回中3 北辰テスト(10/5~12に受験料4730円を持ってきてください。北辰テストは進路指導の際に使いますので塾で申し込んでください。おつりの出ないようにご協力をお願いします。)

【編集/加藤】

☑ 塾では携帯電話の電源は必ず切ること。授業終了時、自宅への連絡手段としてのみ使用してください。

☑ テキストやノートなど持ち物には必ず名前を書いてください。